

保育料

3人目からの無償化を

公約実現へ提案 —— 安田とも子市議

市議選後初の3月市議会が開かれました。定岡敏行市議は、島根原発災害時の避難計画、空き家条例と住宅リフォームについて質問。初議会となった安田とも子市議は、国保税の引き下げ、3人目からの保育料の無償化、自然再生エネルギーの普及の提案をおこないました。共産党議員団は、子育て支援や安心・安全なまちづくりへの積極的な事業を評価したうえで、下水道など公共料金への消費税増税転嫁を批判して、新年度一般会計予算などに反対しました。

りをやるべきだと思う。

安田とも子市議 子どもを何人産み育てるかは保護者の選択ですが、少子化や人口減少に歯止めをかける一助になる。せめて第3子以降の無償化を求めたい。

境港市としては 前向きに検討したいが・・・

中村市長が答弁

安田とも子市議 市は子育て支援を重点政策とし、周辺市町村に比べて安い保育料ですが、それでも利用をためらう人もいます。お金が理由で子どもにとって必要なことが選べないことがあってはなりません。

中村勝治市長 次代を担う人材の育成、将来への投資と思えば、力をいれてきた。今後も充実を図っていききたい。

第3子以降を無償化した場合、県が半分もつても500万円の負担となる。前向きに考えたいが、県としてどうなるかまだ不透明だ。

26年度予算では、幼稚園就園児に対しても、保育所並みに負担軽減措置をとるよう予算計上している。

基本的には、県や地域によつて保育料に差があるというのはおかしな話であつても、つと国が無償化なり軽減な

新しい議会

議長 米村一三氏(4期)
副議長 永井 章氏(3期)
定岡敏行議員
議会運営委員会/経済厚生委員会
災害対策調査特別委員会/議会改革推進特別委員会
安田とも子議員
総務民教委員会/基地・空港港湾問題調査特別委員会

島根原発 住民避難計画

これで再稼働を許せば 要援護者を見捨てたも同然

再稼働に反対を

定岡敏行市議

定岡敏行市議は、県と市が見直した『住民避難計画』のうち、病院の入院患者や介護施設入所者などの避難計画の部分について質問しました。

定岡敏行市議 福島では多くの病人、要介護者が避難先で亡くなった。その悲劇を知つていて、こんな計画でよしとするのか。

計画は病院まかせ

その計画もまだ 搬送車両もない・・・

定岡敏行市議 市内の病院で避難計画ができたのはいくつか。

角俊一郎防災監 病院は二つともまだ策定中。

定岡敏行市議 済生会病院もまだだ。「県が指定する」という行先がまだ決まらない。計画の立てようがない」と言っている。

搬送車両にしても、済生会病院は、「用意できるのは1台だけ。救急車に頼るしかない」と言っている。数あ

る施設や病院も同じじゃないか。救急車は何台ある？1台が何人運んで倉吉まで往復に何時間？一日いたい何人が搬送できる・・・という話になる。

定岡敏行市議 原発事故から3年。避難計画を準備して2年たつが、肝心な部分は少しも進んでいないのが、避難計画の現実だ。

隘路(あいろ)の多い 計画だ

中村勝治市長 もともと隘路(難点、困難)の多い計画だ。また不足、不都合な部分があるが、よりパーフェクトなものにしていきたい。

定岡敏行市議 全国でも、原発周辺自治体1355のうち「計画ができた」は58(4.3%)に過ぎない。

これで再稼働すれば、要援護者を見捨てたも同然だ。再稼働は容認できないとの態度を。
中村勝治市長 政府の『エネルギー基本計画』でも再稼働の条件に避難計画の位置づけは示されていないが、本市としては計画の実効性を高めていきたい。再稼働については、審査結果を待つて中国電力からの詳細な説明を受けたい。

市民の感想

避難計画のズサンさが良くわかる質問だった。何万人もの避難ができるわけない。行政は、なんでなくすことに力入れんのか、不思議でかなわん。

(上道町・男性)

3年経っても、肝心なことが決まらない



中村勝治市長は、「県がガイドラインを示し、病院や施設において計画を策定している」としましたが、定岡敏行市議は、県が指定した広域福祉避難所は、「廊下などのスペースがあるだけのことで、いざとなつてからベッドなど持ち込んで対応する」という実態を示し、次のように指摘しました。

定岡敏行市議 市内の病院で避難計画ができたのはいくつか。
角俊一郎防災監 病院は二つともまだ策定中。
定岡敏行市議 済生会病院もまだだ。「県が指定する」という行先がまだ決まらない。計画の立てようがない」と言っている。
搬送車両にしても、済生会病院は、「用意できるのは1台だけ。救急車に頼るしかない」と言っている。数あ

る施設や病院も同じじゃないか。救急車は何台ある？1台が何人運んで倉吉まで往復に何時間？一日いたい何人が搬送できる・・・という話になる。
定岡敏行市議 原発事故から3年。避難計画を準備して2年たつが、肝心な部分は少しも進んでいないのが、避難計画の現実だ。
中村勝治市長 もともと隘路(難点、困難)の多い計画だ。また不足、不都合な部分があるが、よりパーフェクトなものにしていきたい。
定岡敏行市議 全国でも、原発周辺自治体1355のうち「計画ができた」は58(4.3%)に過ぎない。

高すぎる国保税 引き下げを

安田とも子市議

安田とも子市議 現在、約400人が滞納し、負担感は大い。市は15年据え置いた国保税を、赤字のため、24年度に引き上げた。そのとき、一般会計からの繰入をして引き上げ幅を小さくしたが、繰入を増やして据置くことはできなかったのですか。

であり、一般会計からの繰入をさらに増やすことは、サービスの低下と公平性を欠くことになり、国保以外の市民の理解を得られない。国における抜本的改革が必要と考える。
安田とも子市議 国保は国民皆保険の中心的なしくみであり、市全体で支えて当然ではないか。市民理解を得る努力をし、保険税引き下げも含めた負担軽減を進めよう求めたい。

中村勝治市長 国保制度は、原則、保険の中で賄うべき



質問中の安田とも子市議
3月12日（中海CATVより）

自然エネの普及へ 公共施設の屋根活用も

安田とも子市議は、住宅用太陽光発電や燃料電池設置への補助金交付、新年度からの太陽熱温水器の設置補助について、「地球温暖化防止や環境意識の高揚、関連産業の振興に役立ち、原子力エネルギーから自然エネルギーへの転換にも力を発揮するもの」と評価し、公共施設の屋根の活用、木質ペレットストーブへの補助など、さらに自然エネルギーを普及推進するよう、提案しました。

中村勝治市長は、「現在の助成制度を継続し、自然エネルギーの普及を推進したい。公共施設の活用は耐震改修に合わせて検討したい」と答弁しました。

嘱託職員の 待遇改善 検討を約束

予算案審査の中で、**安田とも子市議**は、消費生活相談員（商工農政課）と青少年育成センター（教育総務課）の嘱託職員について、「専門的な資格や知識、技術を要する業務であり、待遇の改善が必要では」と提起。

両課長とも「必要性は感じている。近隣市町村の状況も調べて検討したい」と答えました。

市民プールや体育館の 使用料が4月1日から 無料になりました。

70歳以上の
心身障がい者
機能回復訓練の人

市民の感想

鳥取市など市民発電所を作っているところもあり、境港でもできるといいなと考えています。
市が協力してくれ
るといいけど。

（幸神町・女性）

解体費用の助成や公共空間への活用など

定岡敏行市議 が提案

「空き家を改築を求めよう」

「境港市空き家の適正管理に関する条例」が議案として出されました。日本共産党市議団は議案には賛成しましたが、条例の改善を求めて、定岡敏行市議が本会議で次のように議論しました。

空き家の解体や土地の管理に費用がかかる。市が抱えることは難しいが、国などの動きもみながら研究したい。

定岡敏行市議 危険家屋の所有者に改善を求めて勧告、命令し、従わない場合は行政代執行という方針だが、できない様々な事情もある。

解体費用の一部助成や使うあてもない家屋や土地の無償提供を受けて行政で解体し、すれ違いポケットや延焼防止帯など安心・安全な公共空間づくりに活かすという手法もあっていいではないか。

中村勝治市長 個人の財産であり、原則、所有者

3月市議会 報告会

どの会場にも
安田、定岡両市議が
参加する予定です。



| | | |
|-------|----------|----------|
| 上道会館 | 4月17日(木) | 午後1時30分～ |
| 境公民館 | 4月19日(土) | 午前10時～ |
| 外江公民館 | 4月21日(月) | 午後2時～ |
| 新屋町会館 | 4月22日(火) | 午後2時～ |
| 誠道公民館 | 4月23日(水) | 午後2時～ |
| 渡公民館 | 4月23日(水) | 午後7時～ |